

郷土芸能 実施要項

1. 日 時

2022（令和4）年11月12日（土）

2. 会 場

日本青年館ホール

3. 目 的

郷土芸能（郷土で行われている日本の芸能）を青年たち自身が継承・公開する活動を通して、郷土に生きる意義を再認識し地域の振興発展に寄与することを目的とする。

4. 演 目

実施する演目内容は、次のとおりとする。

（1）実施する内容

郷土の祭礼と年中行事などで公開されている、伝統的な例えば神楽や獅子舞、太鼓踊など、また和太鼓や郷土特有の歌や踊りなど。

（2）原則として生演奏によることとする。ただし特別な理由がある場合は申し出ること。

5. チーム編成

出演者数は伴奏者等全員で30人以内で編成すること。

6. 出演時間

（1）装置や飾りつけなどがある場合でも、飾りつけ及び撤去の時間、出場、退場時間のすべてを含めて30分以内とする。

（2）出演順序は主催者にて定める。

7. 参加資格

（1）本大会の参加資格は、下記の通りとする。ただし、各都道府県選手団役員（団長、副団長、総監督、総務）、監督、熟練を要する伴奏者（お囃子、唄い手、その他の楽器演奏者）・スタッフはこの限りではない。

- ①1980（昭和 55）年 4 月 2 日から 2007（平成 19）年 4 月 1 日までに出生した者。
 - ②原則、2021（令和 3）年 5 月 1 日からひきつづき当該都道府県に居住、または在勤・在学する者。
 - ③全日制高等学校の生徒は参加対象としない。
 - ④定時制または通信制高等学校、高等専門学校、各種学校の生徒は一般青年として参加できる。
- （2）**伴奏者（お囃子、唄い手、その他の楽器演奏者）の年齢に制限はないが、唄を主体とした芸能の場合はこの限りではない。**
- （3）無資格者が出演したことが発見された時は、チーム全体を失格とする。
- （4）**日本青年団協議会に加盟する都道府県青年団組織または各都道府県の大会窓口からの選出または推薦を受けた者。**
- （5）参加者は医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者とする。
- （6）国内外で職業的演技・演奏者としての活動実績を有する者は本大会に参加できない。

8. オーバーエイジ枠

参加資格に、オーバーエイジ枠（以下、OA（1980（昭和 55）年 4 月 1 日以前に出生した者の参加を一部認める））を設ける。OAの出演者が参加する場合は一団体につき出演者の3分の1以内とする。また、児童が担当することになっている役の演者について参加を認めるが、その場合は学校関係の許可を受けること。

9. 参加申込

締切期日をすぎた後の申込および変更は一切受け付けない。ただし、以下の場合はその限りではない。

- （1）本人が病気、けがで入院するなど参加不可能の場合、医師の診断書を、10 月 14 日（金）必着で大会本部に提出すれば参加登録は抹消する。なお、病気、けがなどの理由で参加登録抹消が発生し、チーム全員の参加が不可能となった場合は、チーム全員の参加登録を取り消す。
- （2）団体競技種目で**参加登録抹消者（理由に関わらず）が発生した場合、参加者の入れ替えを認める。**また、**入れ替え登録は種目別監督会議まで認め、監督会議での報告を義務とする。**入れ替え後の氏名はプログラムには記載されない。なお、書類に不備がある場合は入れ替え登録を認めない。なお、新たに入れ替え登録した参加者の大会参加費及び大会運営費、保険料は発生しないものとし、入れ替える人数より多くの入れ替え登録を行うことはできない。
- （3）**申込は別に定める次の所定申込書による。**
 - ①参加申込書
 - ②上演芸能の内容解説書
 - ③上演解説書
 - ④写真添付用紙どんな芸能なのか、第三者が見て理解できるような出場芸能の内容を示す写真（サービス判）2 枚以上添付すること（なお、写真の裏面には、出場団体名、芸能名、代表者名、代表者連絡先を記入すること）。

10. 表彰

- (1) 賞状は最優秀賞1チーム以内、優秀賞1チーム以内、努力賞2チーム以内に授与する。
- (2) メダルは最優秀賞1チーム以内、優秀賞1チーム以内、努力賞2チーム以内の全員に授与する。
- (3) 楯は最優秀1チーム以内、優秀賞1チーム以内に授与する。
- (4) 後藤文夫賞は賞状と副賞を授与する。

11. 注意事項

- (1) 原則として出演順序の変更は認めない。
- (2) 出演時間になっても到着しない場合は、棄権とみなすことがある。
- (3) 大会終了後審査会を行い、その後、閉会式（各賞発表、表彰、講評）を行う。出場者全員、必ず出席のこと。
- (4) 会場の日本青年館ホールの広さは、間口19m、奥行14m、高さ9mである。
- (5) 他団体の舞台を鑑賞することは、自身のチームの向上発展に大きなヒントを得る機会となり、さらに舞台公演では、上演する側と客席側との対話があって素晴らしいものを産み出すことは言うまでもない。**参加チームは全国の仲間からの学びという視点から、他団体チームの上演を鑑賞するよう努めよう。**

12. 東日本大震災に伴う参加資格の特例について

震災による被害状況及び影響等を考慮し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域県（以下、「特例対象県」）とし、前記参加資格を満たした上で、当該被災地域県からの避難等により、2011（平成23）年3月11日以降移動せざるを得なかった場合、避難前に在住していた県から参加することができる。ただしこの場合、2011（平成23）年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住していた者であることを当該県選手団長が証明する書類を提出することを条件とする。なお、書式については別途指定する。

13. 第69回全国青年大会の延期および開催形態見直しに伴う参加資格の特例について

2020（令和2）年5月～2021（令和3）年9月に予選会を行い、全国青年大会への出場権を得たチームには、出場枠を付与する。

14. その他

- (1) 原則として基準要項、芸能文化の部要項に定めるところによるが、これらと種目別要項が異なる場合には種目別要項が優先される。
- (2) 参加者は、大会本部または大会本部が指定した旅行業者を通じて宿舍を申し込む。宿舍と、航空券または乗車券等とを併せて申し込むことを希望する場合には、大会本部が指定する方法による。

(3) 記載のない内容については主催者で判断する。

